



平成 26 年度 長東小だより 第 13 号

平成 27 年 2 月 26 日発行

2 月に入って、あっという間に 1 か月が経ちました。「光陰矢の如し」とは、まさにこの時季を象徴する言葉のように感じます。2 月は、「教育活動公開日」をはじめとして、たくさんの行事がありました。今年度の学校生活も、休みの日を除くと、実質 18 日余りとなりました。残りの日々で、子供たちに今年度のまとめとしめくくりをしっかりとさせていきたいと考えています。そして、冬を乗り切り、新しい春を迎えたいと思います。

ちょパト隊感謝の会

2 月 12 日(木)に、いつも登下校を見守っていただいている皆さんに、DVD による東小の紹介やざい踊りの披露・全校合唱・お礼の言葉など、児童会を中心に児童全員から感謝の気持ちを届けました。また、保護者を代表して、PTA 会長がお礼の言葉を話されました。

皆さんには、毎日、地道な活動で学校を支えていただいています。中には「こども 110 番」にも登録していただいている方もみえます。ちょパト隊の皆様、心より御礼申し上げます。



「なかよし活動」とは・・・

少子化・習い事等による子どもの多忙化、交通量の増加による遊び場の減少などから、現在は学年の違う子ども同士がふれ合う場や機会が少なくなっています。学年の違う子ども同士のふれ合いは、いたわり、尊敬、我慢、協力などの心情や態度を培うことが十分に期待できることから、東小では、「縦割り清掃」の他に「なかよし活動」を年に 2 回行っています。



2 月 6 日(金)の教育活動公開日・ユネスコスクール教育講演会では、多数の保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。

今後も保護者の皆様に参加していただく機会を多く設定し、教育活動の情報を提供していきたいと思います。



文字職人 杉浦誠司さんと 5 年生の子どもたち(教育講演会より)

